

問1 約4500首もの多様な階層の歌が収められている、日本最古の歌集を何という？

1. 古今和歌集                      2. 新古今和歌集                      3. 万葉集                      4. 懐風藻

問2 防人たちが詠んだ歌などが収められている、日本最古の歌集を何という？

1. 古今和歌集                      2. 懐風藻                      3. 万葉集                      4. 新古今和歌集

問3 戸籍に基づいて6歳以上のすべての人々に田地を分け与え、そのかわりに税を徴収する制度を何という？

1. 班田収授法                      2. 租庸調                      3. 庚午年籍                      4. 戸籍法

問4 東大寺にあり、当時の国際色豊かな宝物が数多く収められている施設を何という？

1. 唐招提寺                      2. 法隆寺                      3. 薬師寺                      4. 正倉院

問5 聖武天皇が鎮護国家を目的として、全国各地に建立させた官立の寺院を何という？

1. 国分寺                      2. 氏寺                      3. 官寺                      4. 尼寺

問6 『日本書紀』で、神代から歴史が記録されている最後の天皇は誰？

1. 持統天皇                      2. 推古天皇                      3. 称徳天皇                      4. 元明天皇

問7 大伴家持らが編纂に関わったとされる、現存する日本最古の和歌集を何という？

1. 新古今和歌集                      2. 万葉集                      3. 古今和歌集                      4. 懐風藻

問8 律令制において、中央政府から地方に派遣され、その地域の行政・司法・軍事を統括した役職を何という？

1. 地頭                      2. 郡司                      3. 守護                      4. 国司

問9 正倉院にゆかりの品々がおさめられている、奈良時代の天皇は誰？

1. 天武天皇                      2. 桓武天皇                      3. 孝徳天皇                      4. 聖武天皇

問10 正倉院で見られる、三角材を組み上げて湿気を防ぐ建築様式を何という？

1. 寝殿造                      2. 書院造                      3. 校倉造                      4. 数寄屋造

問11 大化の改新以降、土地や人々はすべて天皇（国家）のものであるとする原則を何という？

1. 一国平均役                      2. 公地公民                      3. 土地台帳                      4. 荘園公領制

問12 大化の改新以降、土地や人民はすべて国家のものであるとした原則を何という？

1. 土地私有制                      2. 墾田永年私財                      3. 公地公民                      4. 荘園公領制

問13 律令制において、中央から派遣された国司のもとで、現地の有力な豪族が任命された役職を何という？

1. 郡司                      2. 惣領                      3. 国司                      4. 里長

問14 奈良時代に、中国の制度や文化を学ぶために派遣された使節を何という？

1. 遣新羅使                      2. 遣隋使                      3. 遣明使                      4. 遣唐使

問15 奈良時代の九州地方に派遣され、防衛の任務についた兵士を何という？

1. 兵士                      2. 衛士                      3. 健児                      4. 防人

問16 奈良時代、聖武天皇が仏教による国家の守護を目指して、国分寺の総本山として都に建立させた寺院は何という？

1. 唐招提寺                      2. 興福寺                      3. 東大寺                      4. 法隆寺

## 答え合わせ・解説

問1	答え 3 万葉集	万葉集は、奈良時代末期にまとめられた日本最古の和歌集です。約4500首という膨大な歌が収められており、中には天皇や貴族だけでなく、兵士である防人や農民といった、普段は歴史の記録に残りにくい人々の歌も含まれていることが大きな特徴です。素朴で力強い感情表現が多用されていることから、当時の人々の息吹を直接感じることができる資料です。
問2	答え 3 万葉集	万葉集は、約4500首の歌を収めた日本最古の歌集です。特徴は、天皇や貴族だけでなく、防人や農民といった一般庶民の素朴で力強い感情がそのまま記されている点にあります。防人が詠んだ「防人の歌」には、国を守る誇りと家族への羨慕が混ざり合い、当時の社会の現実がリアルに表現されています。
問3	答え 1 班田収授法	班田収授法は、6歳以上の男女に口分田という田地を貸し与え、その人が亡くなれば国に返させる制度です。この田地から収穫された米の一部が税として国家に納められました。
問4	答え 4 正倉院	正倉院は校倉造という独特の建築様式で建てられ、湿度の変化に応じて木材が伸縮することで内部の環境を一定に保つ工夫がなされています。ここには、天皇の愛用品だけでなく、当時の楽器や文書、世界各地からの貢ぎ物など、天平文化の粋が集められています。
問5	答え 1 国分寺	国分寺は、聖武天皇が全国60余国に命じて建てさせた寺院です。各国の国分寺と国分尼寺は、東大寺を総本山とするネットワークの一部として機能しました。これにより、地方にまで仏教の教えと国家の影響力を浸透させ、仏の力で国の安定を図りました。
問6	答え 1 持統天皇	日本書紀は、奈良時代の720年に完成した歴史書です。神話の時代から始まり、持統天皇の時代までの歴史を詳細に記しています。中国の歴史書の記述様式を取り入れ、非常に精緻な記録となっています。
問7	答え 2 万葉集	万葉集は、現存する日本最古の和歌集です。歌人としても有名な大伴家持が編纂に大きく貢献したとされており、奈良時代末期までに完成しました。収録されている歌は、天皇から防人、農民まで非常に幅広い階層の人々によって詠まれたものであり、当時の多様な人々の感情や生活文化が生き生きと表現されています。
問8	答え 4 国司	「国司」は、朝廷から地方の「国」に派遣される長官です。その国の政治・裁判・軍事など全般を管理する非常に重要な職務でした。任期があり、現地の実務を担う郡司を指揮して効率的な地方支配を行いました。
問9	答え 4 聖武天皇	聖武天皇は、各地に国分寺を建て、東大寺には大仏を造立しました。彼の没後、光明皇后がその冥福を祈り、愛用していた多くの品々を東大寺に奉納したものが、現在の正倉院の宝物となっています。
問10	答え 3 校倉造	校倉造は、断面が三角形の木材を井桁（いげた）に組んで壁を作る工法です。湿気が多いときは木材が膨らんで隙間をふさぎ、乾燥すると木材が縮んで風を通すという、自然の作用を利用した高い調湿機能を備えています。
問11	答え 2 公地公民	公地公民とは、すべての土地と人民を国家が直接管理し、公的なものとする原則です。これにより戸籍を作り、国民に田地を分け与えることで、税を徴収する仕組みを整えました。
問12	答え 3 公地公民	7世紀の「大化の改新」によって打ち出された政策です。すべての土地を「公地」、すべての人民を「公民」と定義し、国家が直接管理することを目指しました。これにより班田収授法が成立し、税の徴収が計画されました。
問13	答え 1 郡司	「郡司」は、地方の行政単位である郡の実務責任者です。かつて地方の有力豪族であった人々が任命されました。都から派遣された「国司」をサポートし、税の徴収や戸籍の管理などの実務を担当しました。
問14	答え 4 遣唐使	遣唐使は、7世紀から9世紀にかけて、日本が唐へ派遣した公式の使節団です。留学生や学問僧らが同行し、唐の政治制度、仏教、建築、美術、音楽など、多岐にわたる先進的な知識を日本に持ち帰りました。これらは当時の日本社会を急速に発展させる原動力となりました。
問15	答え 4 防人	防人は、大和朝廷が九州地方の防衛のために配置した兵士です。主に東国（現在の関東地方）の農民から徴兵され、長期間の任期で現地に派遣されました。万葉集には、故郷を離れる寂しさや任務の過酷さを歌った防人の歌が多く収められており、当時の人々の苦しい生活の様子を今に伝えています。
問16	答え 3 東大寺	聖武天皇の命により、各国の国分寺を束ねる総本山として建設されました。特に本尊である大仏の建立は、当時の国家プロジェクトとして非常に大きな規模で行われました。